

個人投資家さま向け 会社説明会

2025年2月6日



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

加藤 貞則 （かとう さだのり）

1957年 岡山県倉敷市生まれ

1977年 総社高校 卒業

1981年 早稲田大学政治経済学部 卒業

中国銀行 入行

1993年 米・シカゴ大学経営大学院 修了

鴨方支店長、岡南支店長、システム部長など歴任

2013年 取締役人事部長

2015年 常務取締役

2017年 専務取締役（代表取締役）

2019年 取締役頭取（代表取締役）

2022年 ちゅうぎんフィナンシャルグループ 取締役社長（代表取締役）（現職）



I. ちゅうぎんフィナンシャルグループについて

- 企業プロフィール 4
- 沿革 5
- 組織体制 6
- 事業基盤 7
- 財務・非財務ハイライト 8

II. 経営方針・戦略

- 長期経営計画 12
- 中期経営計画 13
 - ー 地方創生SDG s の「深化」 14
 - ー イノベーションの創出 28
 - ー グループ経営基盤の強化 33

III. 決算

- 業績推移・利益予想 38

IV. 株主還元

- 株主還元方針 40

V. 株主優待

- 株主優待制度 42

VI. 最後に

- 皆さまへのメッセージ 45

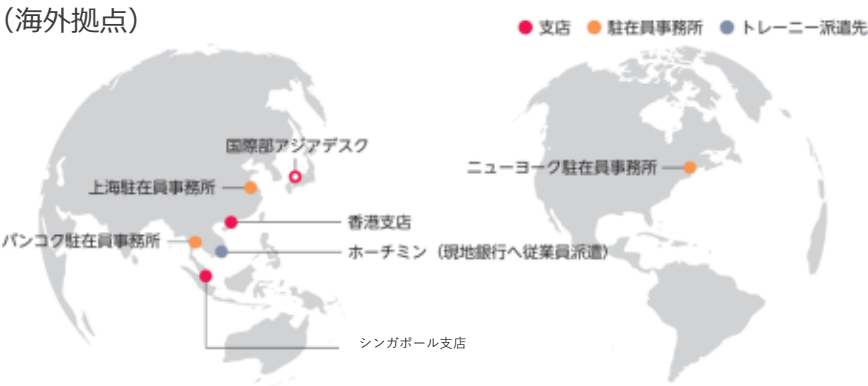


グループ
経営理念

地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する

名称	ちゅうぎんフィナンシャルグループ
設立	2022年（令和4年）10月3日
創立	1930年（昭和5年）12月21日 （中国銀行）
創業	1878年（明治11年）12月9日 （前身の第八十六国立銀行）
所在地	岡山県岡山市北区丸の内1丁目15番20号
代表者	代表取締役社長 加藤貞則
店舗数	137か店（'24/9末、店舗内店舗およびインターネット支店除く） 国内本支店・出張所：135、海外支店：2
資本金	160億円
従業員数	4,660名（連結）（'24/3末）
証券コード	5832（東証プライム）
時価総額	3,162億円（'25/1末）

146年
の歴史



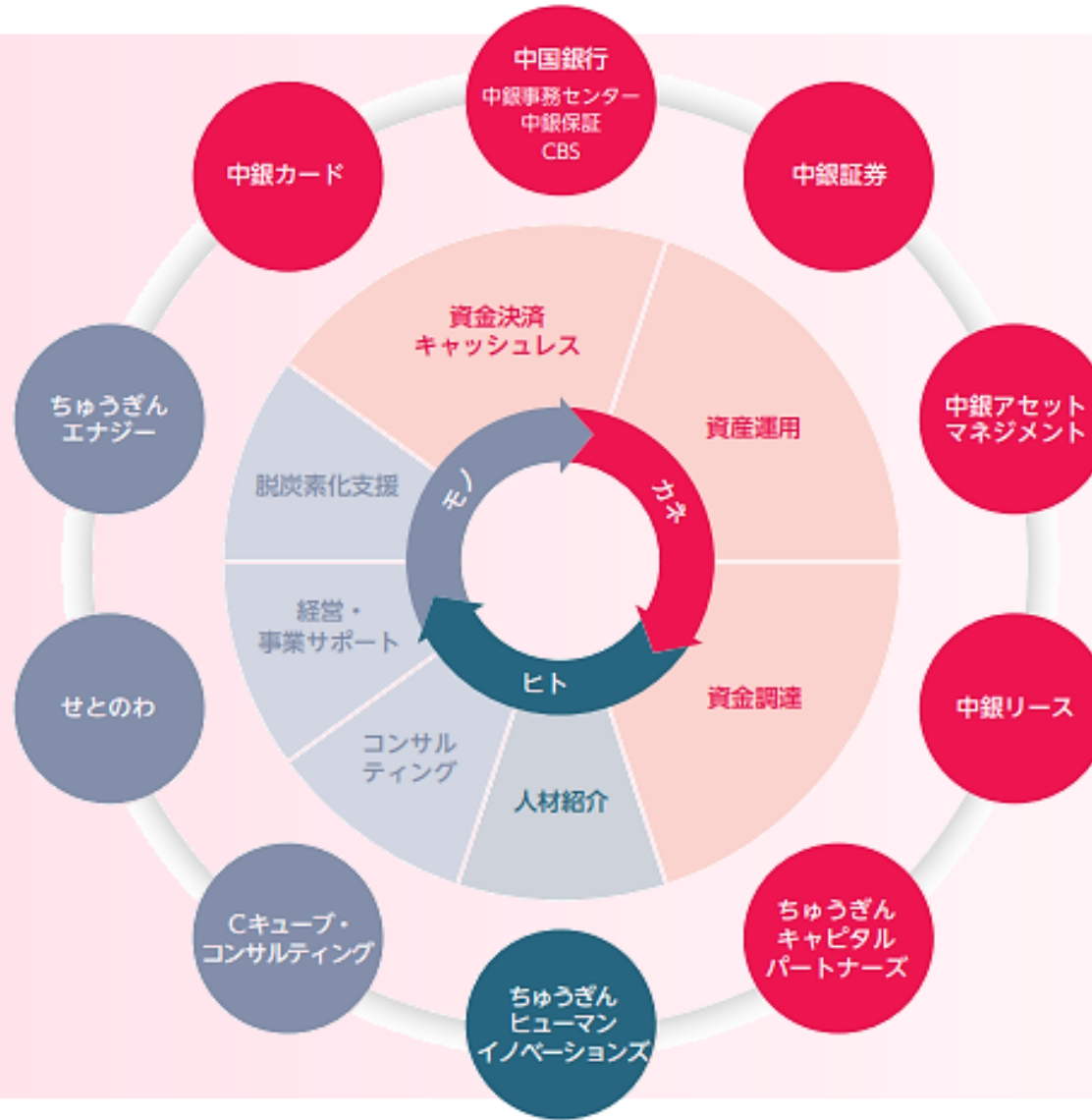
1878年（明治11年）、第八十六国立銀行として設立した中国銀行は、昭和初期の社会的な金融不安を乗り越え、地域のみならずとともに成長してきました。多様化するお客さまのニーズにお応えするため、2022年（令和4年）、ちゅうぎんフィナンシャルグループを設立し新たなスタートを切りました。さまざまなグループ会社とともに最適なソリューションを提供し、地域の課題解決や地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。



新たな
ステージへ



**2022年10月
持株会社体制へ移行**



**フィナンシャルグループの
総合力を活用して**

**地域社会・
お客さまへ
金融を中心とした
総合サービス
を提供**

人口は総務省「人口推計（2023年）」

※ 店舗内店舗を除く

温暖な気候と少ない災害

- 岡山県は降水量1mm未満の日が多く「晴れの国」と呼ばれる温暖な気候。



岡山県276.7日 全国1位！
(降水量1mm未満年間日数 気象庁)
(1991年～2020年の30年間平均)

交通の要衝

- 岡山県は東西、南北に高速道路が交わる本州と四国のクロスポイント。
- 営業倉庫規模は中四国最大。
- 近年は物流拠点の新增設が相次ぎ、全国のメーカーや流通企業の拠点が数多く進出。



SDGs先進県としての岡山県

- 行政、大学・教育機関、地元企業、金融機関などが連携し、地域全体でSDGsに対する取り組みが進む。
- 『SDGs未来都市』岡山市、真庭市、西粟倉村、倉敷市、備前市
- 『脱炭素先行地域』真庭市・西粟倉村、瀬戸内市
- 『デジタル田園健康特区』吉備中央町



豊富な森林資源

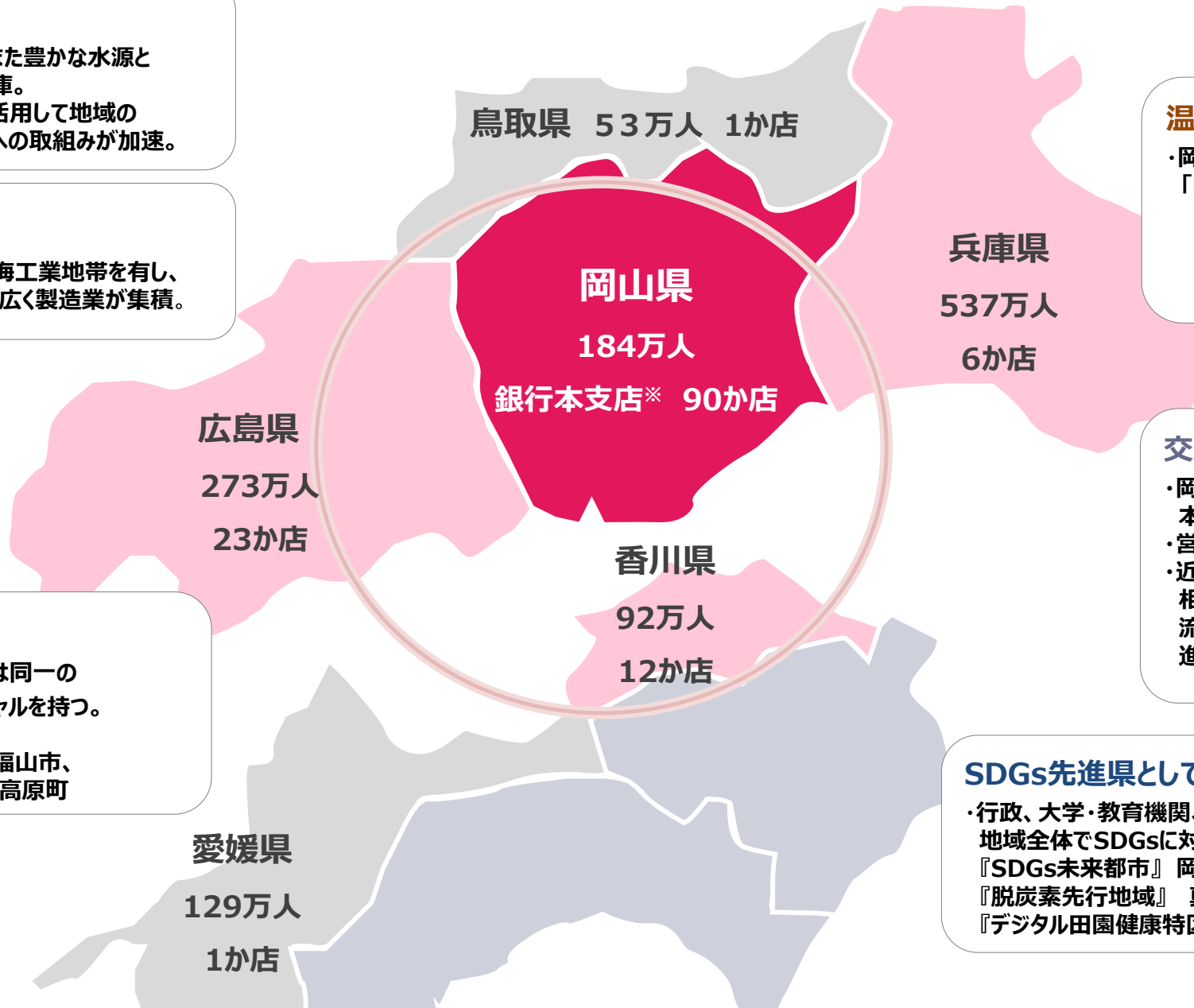
- 日本有数の木材生産地であり、また豊かな水源と多様な生物に恵まれた自然の宝庫。
- バイオマス等の再生エネルギーを活用して地域の活性化が進むなど、循環型社会への取り組みが加速。

全国有数の工業地帯

- 南部では全国でも有数の水島臨海工業地帯を有し、石油、化学、鉄鋼、自動車など幅広く製造業が集積。

広域な東瀬戸経済圏

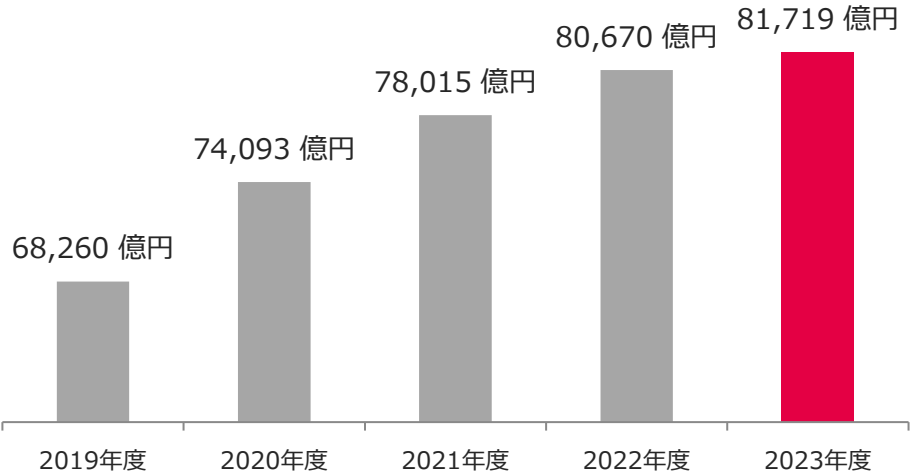
- 岡山県、香川県、備後地区※は同一の広域経済圏として高いポテンシャルを持つ。
- ※岡山県：笠岡市、井原市
広島県：三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町



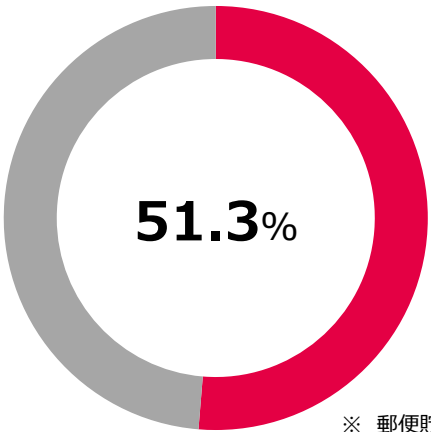
預金

8.1兆円

(預金 + NCD)
(2023年度平残、銀行単体)



岡山県内シェア

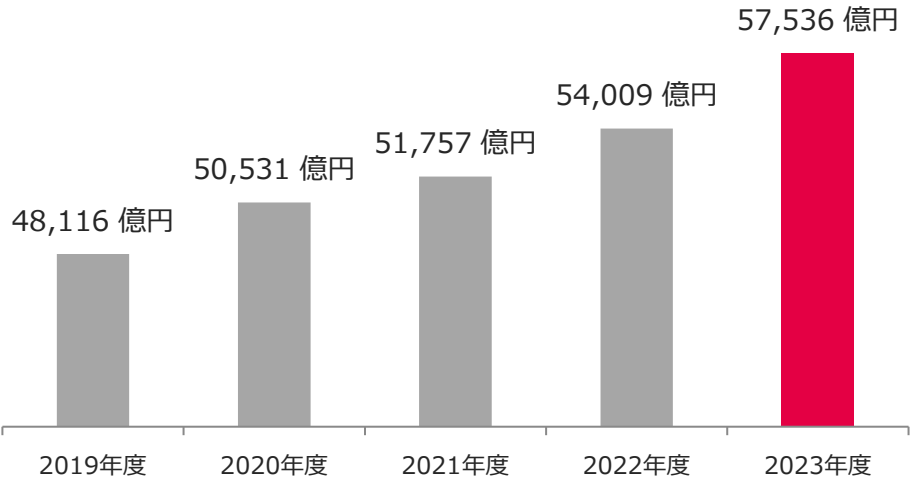


※ 郵便貯金、農協を除く

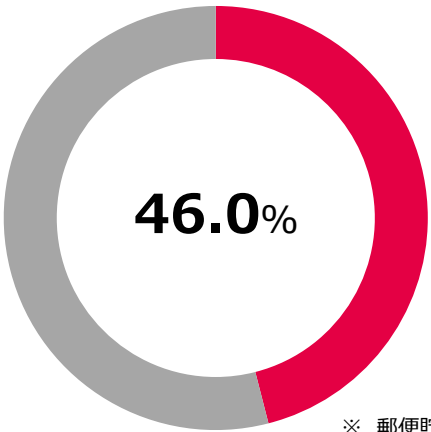
貸出金

5.7兆円

(2023年度平残、銀行単体)

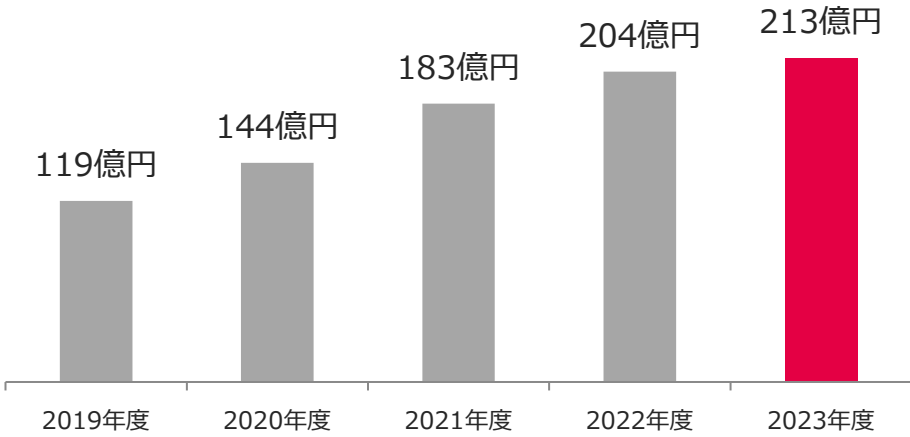


岡山県内シェア

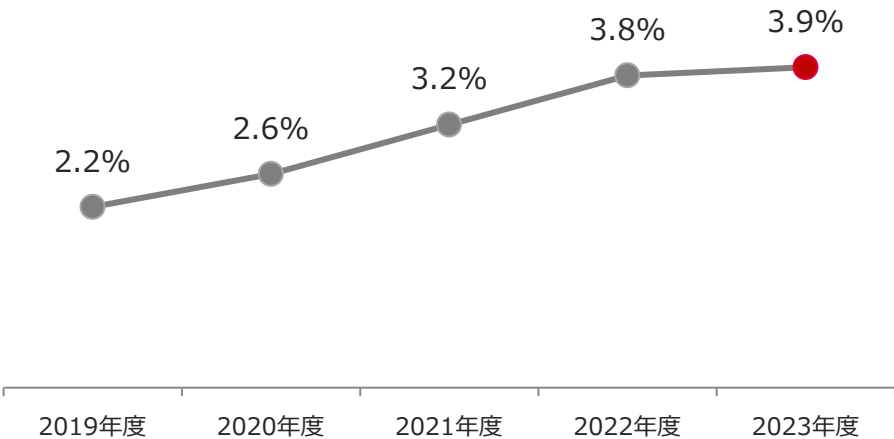


※ 郵便貯金、農協を除く

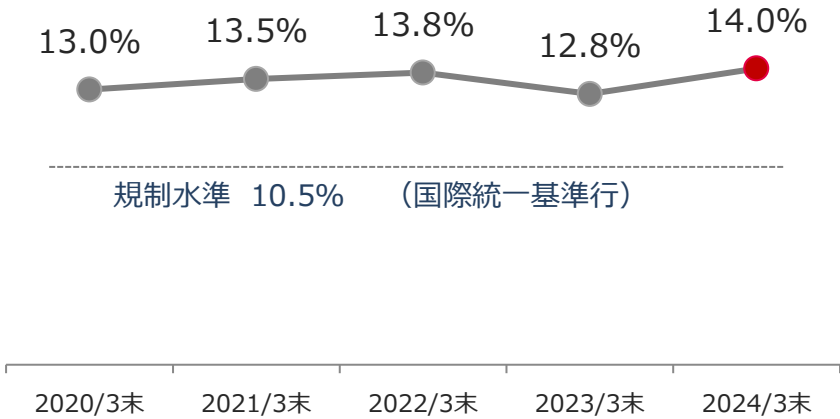
利益
(親会社株主に帰属する当期純利益)



ROE
(自己資本利益率)



連結総自己資本比率
(国際統一基準)



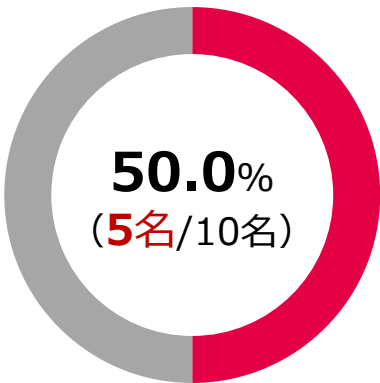
外部格付

<R&I>		
ちゅうぎんフィナンシャルグループ	...	A+
中国銀行	...	A+
<Moody's>		
中国銀行	...	A2

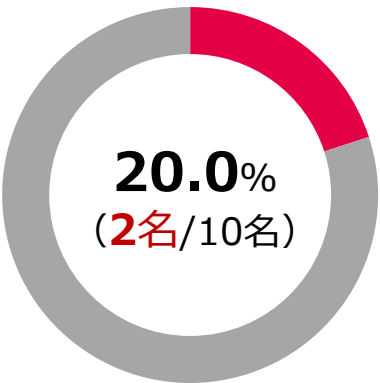
※ いずれも2025年1月末時点

ガバナンス（取締役会の構成）

社外取締役



女性取締役



社外取締役の主な経歴

福原 賢一	元 野村證券株式会社取締役 元 株式会社ベネッセホールディングス代表取締役社長 現 株式会社ベネッセホールディングス特別顧問
八劔 洋一郎	現 イグレック株式会社理事 現 内閣サイバーセキュリティセンター情報セキュリティ指導専門官 現 ジオテクノロジーズ株式会社代表取締役社長CEO
清野 幸代	元 岡山弁護士会副会長 現 きよの法律事務所弁護士
人見 康弘	元 株式会社シマノ取締役 元 株式会社シマノ顧問
生越 栄美子	元 有限責任監査法人トーマツパートナー 現 生越公認会計士事務所代表

人的資本（従業員の公的資格取得状況）

中小企業診断士	58名	宅地建物取引士	328名
FP1級	242名	行政書士	21名
証券アナリスト	70名	キャリア コンサルタント	26名
弁護士	5名	情報セキュリティ マネジメント	121名
公認会計士	2名	ITストラテジスト	7名
社会保険労務士	11名	プロジェクト マネージャー	10名

※ 2024年3月末時点

イニシアチブへの賛同

經營戰略

人口減少等の社会環境の変化に打ち克ち、持続可能なビジネスモデルを構築すべく、
2017年3月に期間10年の長期経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』を策定。

【長期ビジョン達成にむけたフレームワーク】



豊かな未来を創る取組み

- 提供するサービスの質の向上
- サービスを提供する機会の拡大



経営の土台を創る取組み

- サービスを提供するための体力の強化
- 一人ひとりの心の変革と組織風土改革

2017年度 ← 3年間 → 2020年度 ← 3年間 → 2023年度 ← 4年間 → 2026年度

長期経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅠ」

構造改革（ハード面強化）

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅡ」

行動改革（ソフト面強化）

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅢ」

成果発揮・新たな挑戦

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅢ」

成果発揮・新たな挑戦

1 地方創生SDGsの「深化」

地域の魅力・ポテンシャルを引き出し「**地域の持続的な発展**」に貢献します

2 イノベーションの創出

次なる成長に向けた「**新たな価値**」を創造します

3 グループ経営基盤の強化

成長戦略を実行するための「**強固な土台**」を築きます

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅢ」

成果発揮・新たな挑戦

1 地方創生SDGsの「深化」

地域の魅力・ポテンシャルを引き出し「**地域の持続的な発展**」に貢献します

2 イノベーションの創出

次なる成長に向けた「新たな価値」を創造します

3 グループ経営基盤の強化

成長戦略を実行するための「強固な土台」を築きます



ちゅうぎんフィナンシャルグループ



地域を面で捉えた取組み

SDGs×鏡野町

- 地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定

SDGs×真庭市

- 地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定

SDGs×新庄村

- 地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定
- 持続可能な森づくりを目指す造林事業
- DX推進支援事業

SDGs×高梁市

- 地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定

SX×府中市

- 脱炭素社会実現に向けた地域経済分析および再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査業務

SX×福山市

- 地方創生に関する包括協定

SX×倉敷市

- 地方創生に関する包括協定

DX・SX・SDGs×三豊市

- AI・IoT等先端技術を活用した産業振興
- 脱炭素社会の実現に向けた連携に関する協定
- 持続可能でより魅力的な産業、三豊市農業の実現に向けた連携と協力に関する協定

SX×岡山県

- 地方創生に関する包括協定

SX×津山市

- 脱炭素先行地域申請支援業務



SX×西粟倉村

- 「脱炭素先行地域」共同提案
- 地域新電力会社の設立



SX×美作市

- 地方創生に関する包括協定

SX×和気町

- 地域の脱炭素に係る連携と協力に関する包括協定

DX・SX・SDGs×岡山市

- 地方創生に関する包括協定
- SDGs連携パートナーズ制度に係る普及及び登録事業者の取組み推進に関する協定
- 「エンパイ for 中国銀行」を公立幼保施設に導入
- 岡山市スマート窓口に向けたBPR業務の受託

SX×瀬戸内市

- 「脱炭素先行地域」共同提案
- 地域新電力会社の設立



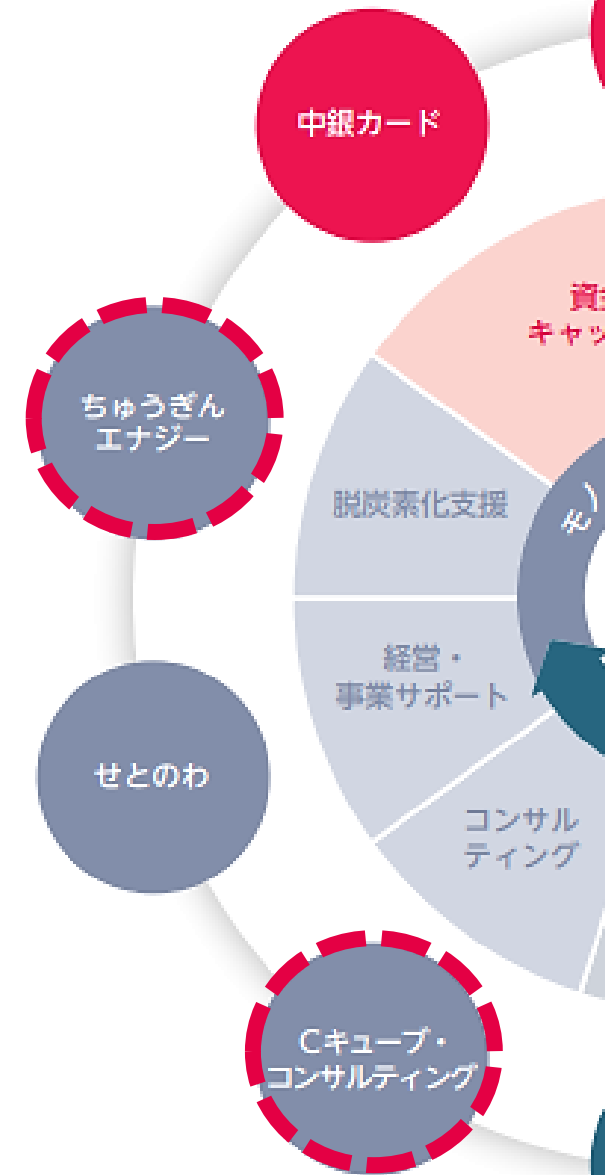
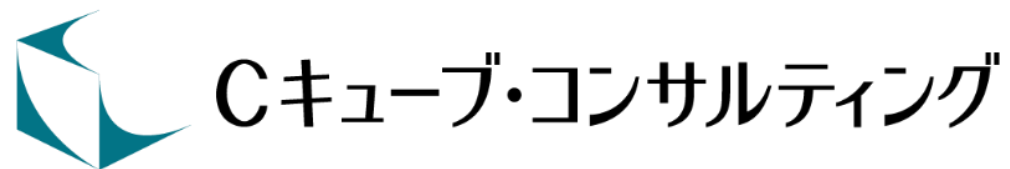
SX×玉野市

- 地方創生に関する包括協定

※ 赤字はCキューブ・コンサルティングによる受託業務
青字はちゅうぎんエナジーによる出資

当社グループと地域とのかかわり

—事例—



＜企業概要＞

ちゅうぎんエナジー（2023年4月 設立）

【太陽光PPA※事業など】地域・お客さまの**脱炭素化、電力の地産地消**を後押し

※ PPA(Power Purchase Agreement)...電気を発電する電力事業者と、需要家（電力の使用者）との間で結ぶ「電力販売契約」

＜事業スキーム＞



＜実績状況＞

※2025/1末時点

契約 施設数	46施設
総契約 容量	14.5MW
CO ₂ 削減量	6,676 t -CO ₂ /年（今後設置予定分含む） （約2,600世帯分相当の吸収量）



＜企業概要＞

Cキューブ・コンサルティング（2022年9月 設立）

DX/SXを核とした高度なコンサルティングを提供

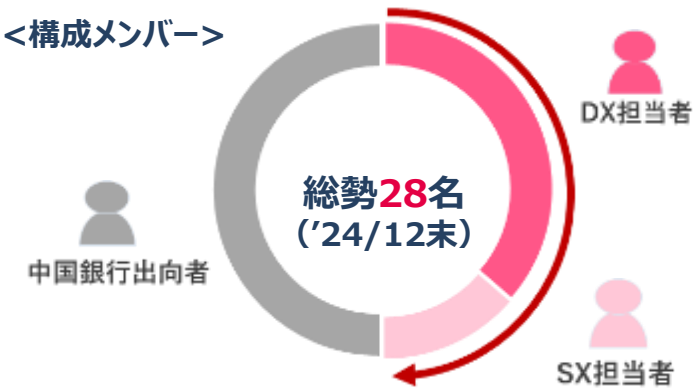
社名の由来

C Chugin Financial Group「ちゅうぎんフィナンシャルグループ」 × C Community「地域社会」 × C Co-Creation「共創」

特徴

1.	地方創生に熱い思いを持った スタートアップ
2.	広域 の社会課題解決（BtoX）
3.	ちゅうぎんグループの 総合力 で地域をデザイン
4.	中国銀行の 信用力 /地域リレーション活用

代表者をはじめとして大手コンサル出身者が多数在籍
少数精鋭のプロ集団



<脱炭素への取組み>

地域新電力

西栗倉村 × ちゅうぎんエナジー

瀬戸内市 × ちゅうぎんエナジー

エネルギーの地産地消、域内でのエネルギー循環を目指し、

✓ 民間企業との**共同出資による地域新電力会社**を設立



<脱炭素への取組み>

脱炭素先行地域※

※カーボンニュートラルの達成に向けて、地域特性に応じた脱炭素社会の実現に向けた取組みを先行的に行う地域として環境省が選定
2025年度までに少なくとも100か所の選定を予定

西栗倉村 × 中国銀行 × Cキューブ・コンサルティング

環境省が募集する「脱炭素先行地域」に対して、

✓ 西栗倉村中国銀行および民間企業2社により**共同提案**

✓ Cキューブ・コンサルティングが**計画作成・進捗管理を伴走支援**





ちゅうぎんフィナンシャルグループ



法人・事業主の
お客さまへの取組み



<創業支援>

創業エコシステム

創業エコシステムを通じた新設法人数

29社

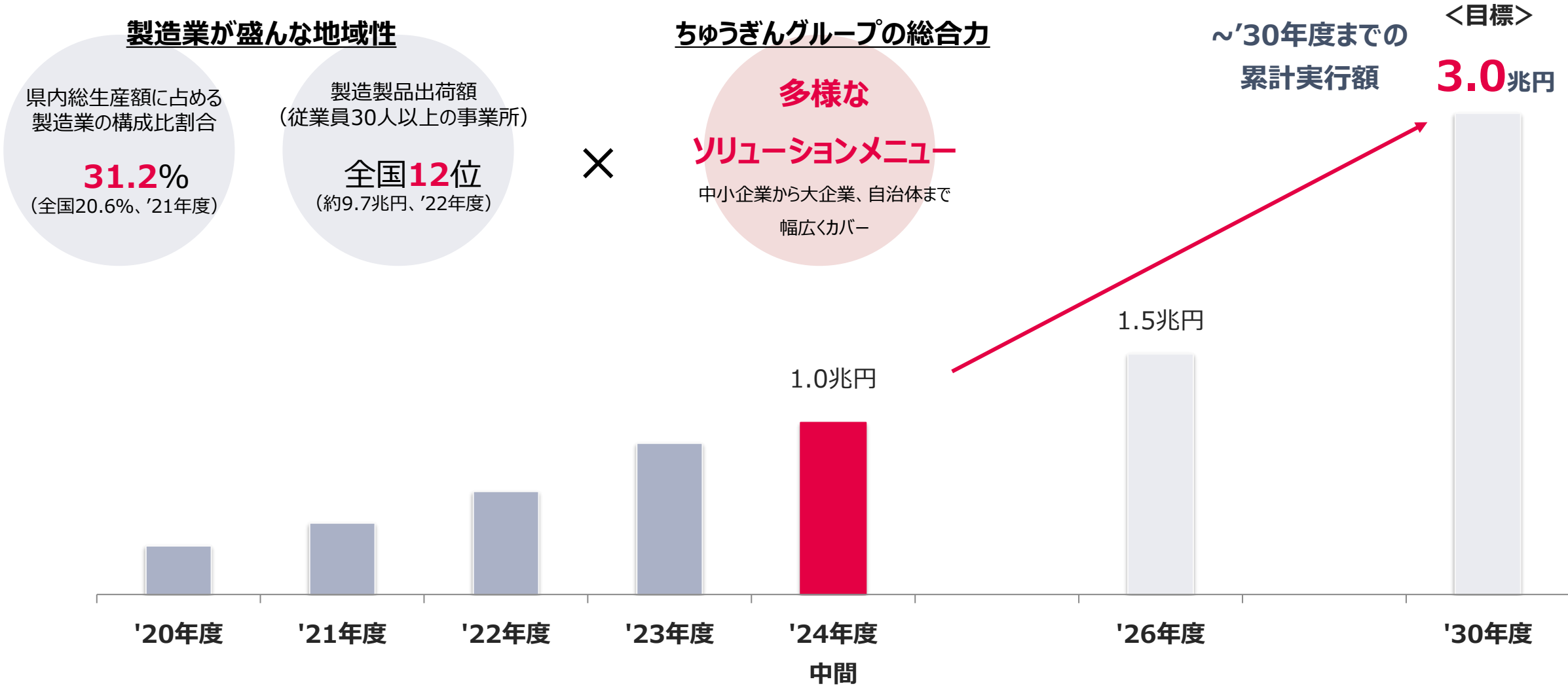
(2017～2024年9月累計)



＜サステナビリティ向上＞

サステナブルファイナンス※

※社会分野（医療・介護・保育、教育 ほか）・環境分野（太陽光、風力、バイオマス、EV ほか）、地方創生SDGs/ESGの取組支援を対象とした投融資



<地元基幹産業への取組み>

シップファイナンス（外航船舶向け融資）

動向（見通し）
マーケット



シップファイナンスセンター
開設（'20/11）

各営業店の船舶融資を集約

- ・業界情報の集約、共有
- ・人財育成、専門性向上

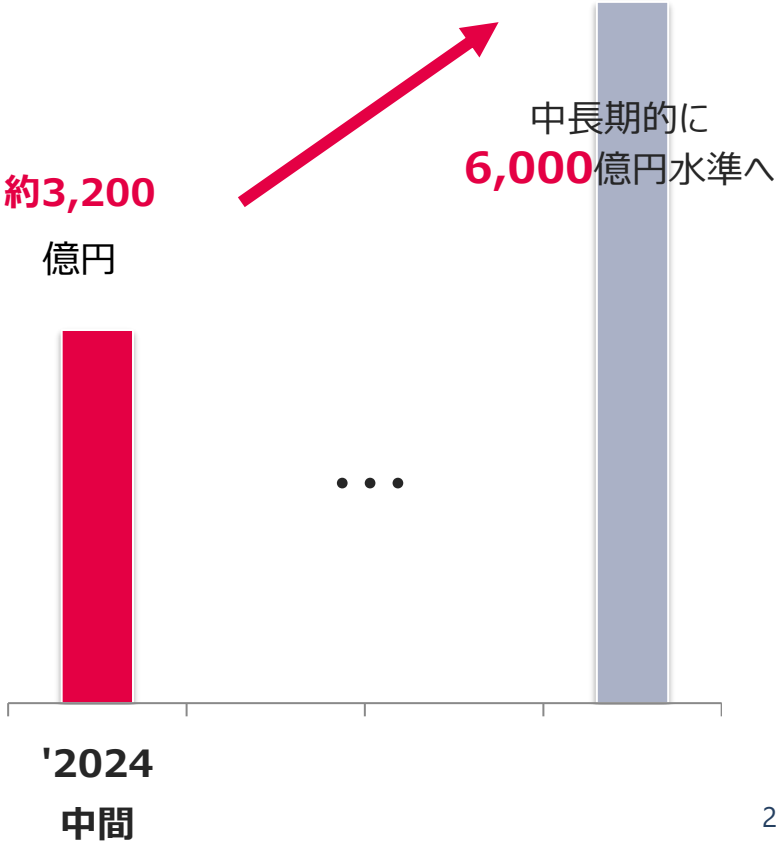
シンガポール支店
開設（'23/6）

世界的海事都市への進出

- ・船舶分野のプレゼンス向上
- ・新たなビジネスチャンス拡大



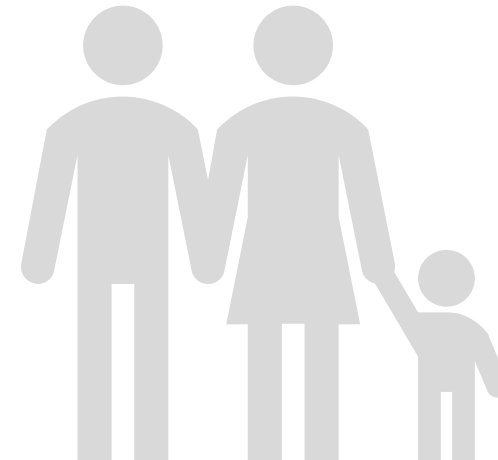
今後の融資残高（イメージ）





ちゅうぎんフィナンシャルグループ ×

個人の
お客さまへの取組み

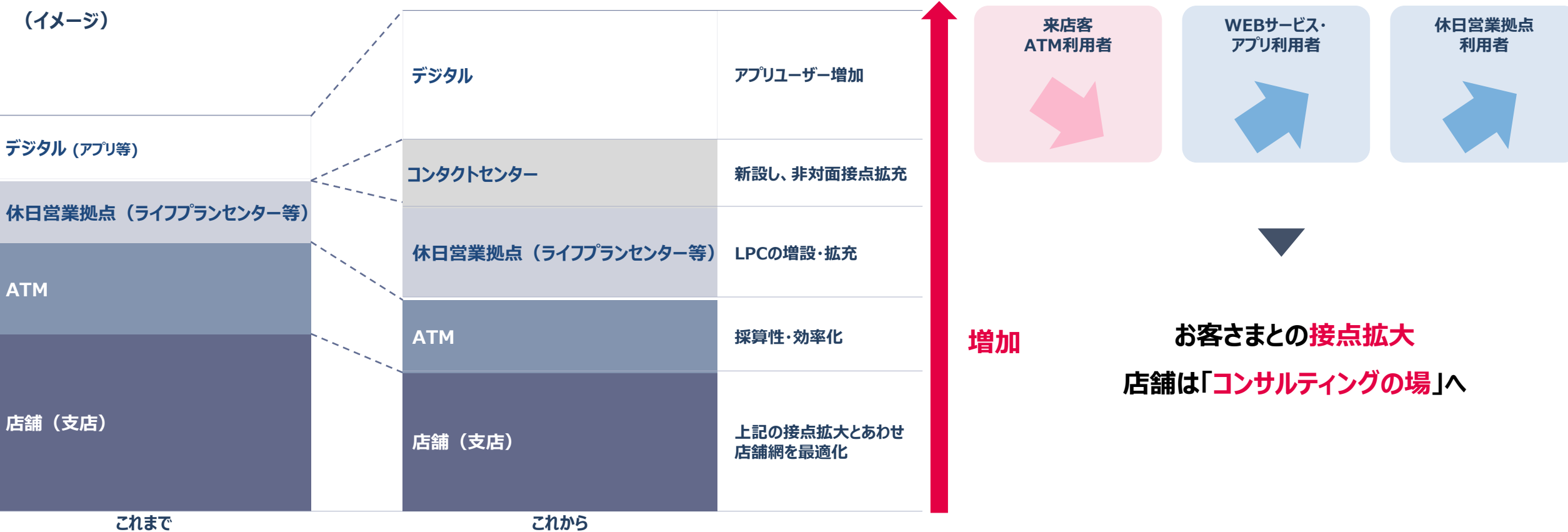


<お客さまとの接点拡大>

チャネル戦略

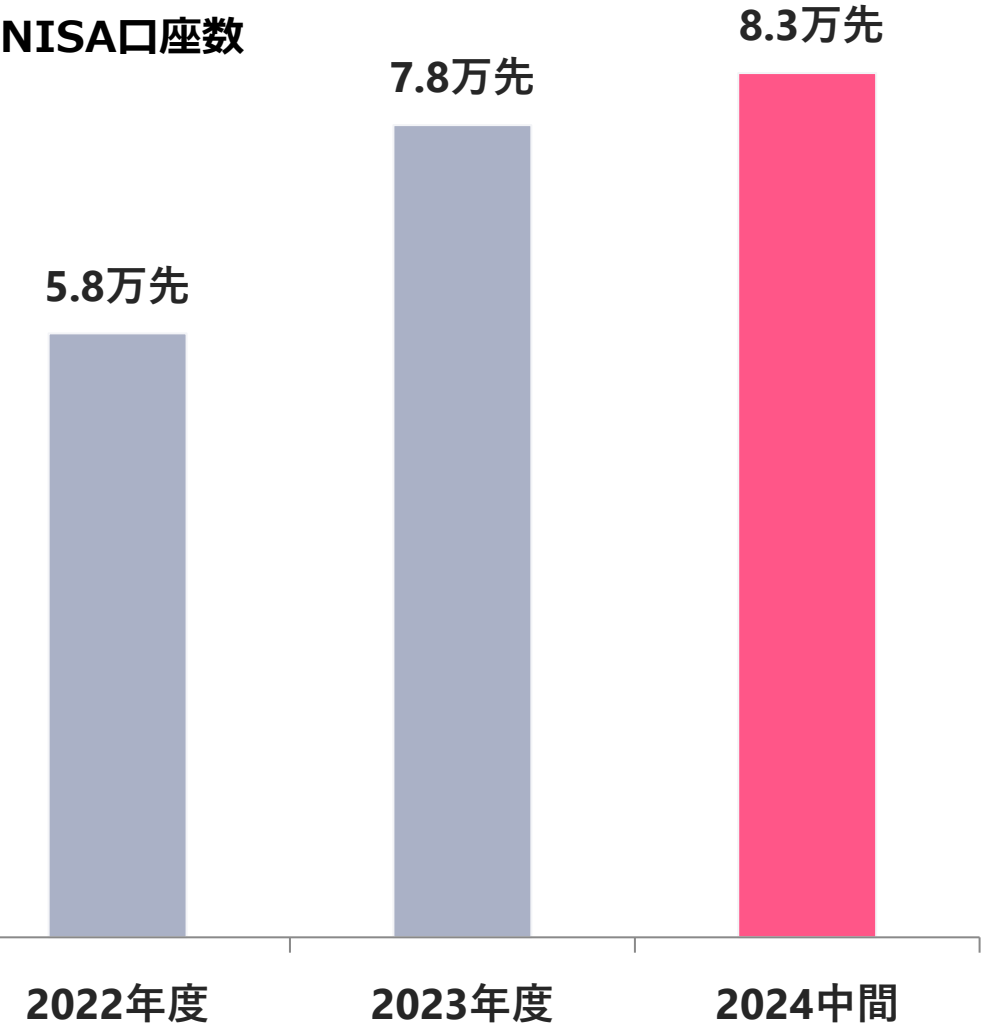
今後の方向性

(イメージ)



<ライフプランのサポート>

資産形成



新NISA制度も活用し、『貯蓄から投資』を後押し

テレビCM



キャンペーン



ちゅうぎんアプリでNISA口座開設



参考：ユーザー数の推移



中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅢ」

成果発揮・新たな挑戦

1 地方創生SDGsの「深化」

地域の魅力・ポテンシャルを引き出し「地域の持続的な発展」に貢献します

2 イノベーションの創出

次なる成長に向けた「新たな価値」を創造します

3 グループ経営基盤の強化

成長戦略を実行するための「強固な土台」を築きます

2024年5月

「ちゅうぎんDX戦略」策定

お客さまと豊かな未来を共創すべく
まずは自らがDX企業となり
お客さまのDXをサポートします



<業務プロセス改革>

住宅ローン申込のデジタル化

事前審査時に必要な
入力項目を大幅に簡素化



- 2024年7月から住宅ローン申込のデジタル受付を開始
- デジタル受付により事前審査結果は最短30分で回答可能
- お客様の利便性が向上し、足元の申込件数も堅調に推移

住宅ローン審査お申し込み

Step 1 登録情報入力 → Step 2 入力内容確認 → Step 3 登録完了

START GOAL

必須 お申し込み人数

※お申し込み人数を選択して下さい。

1人 2人

ご本人さま・ご家族さま情報のご入力

お名前

▲ 住宅ローン事前審査申込画面

<地域BPO※>

地域企業の間接業務を受託

※BPO：Business Process Outsourcingの略、業務の集中処理化

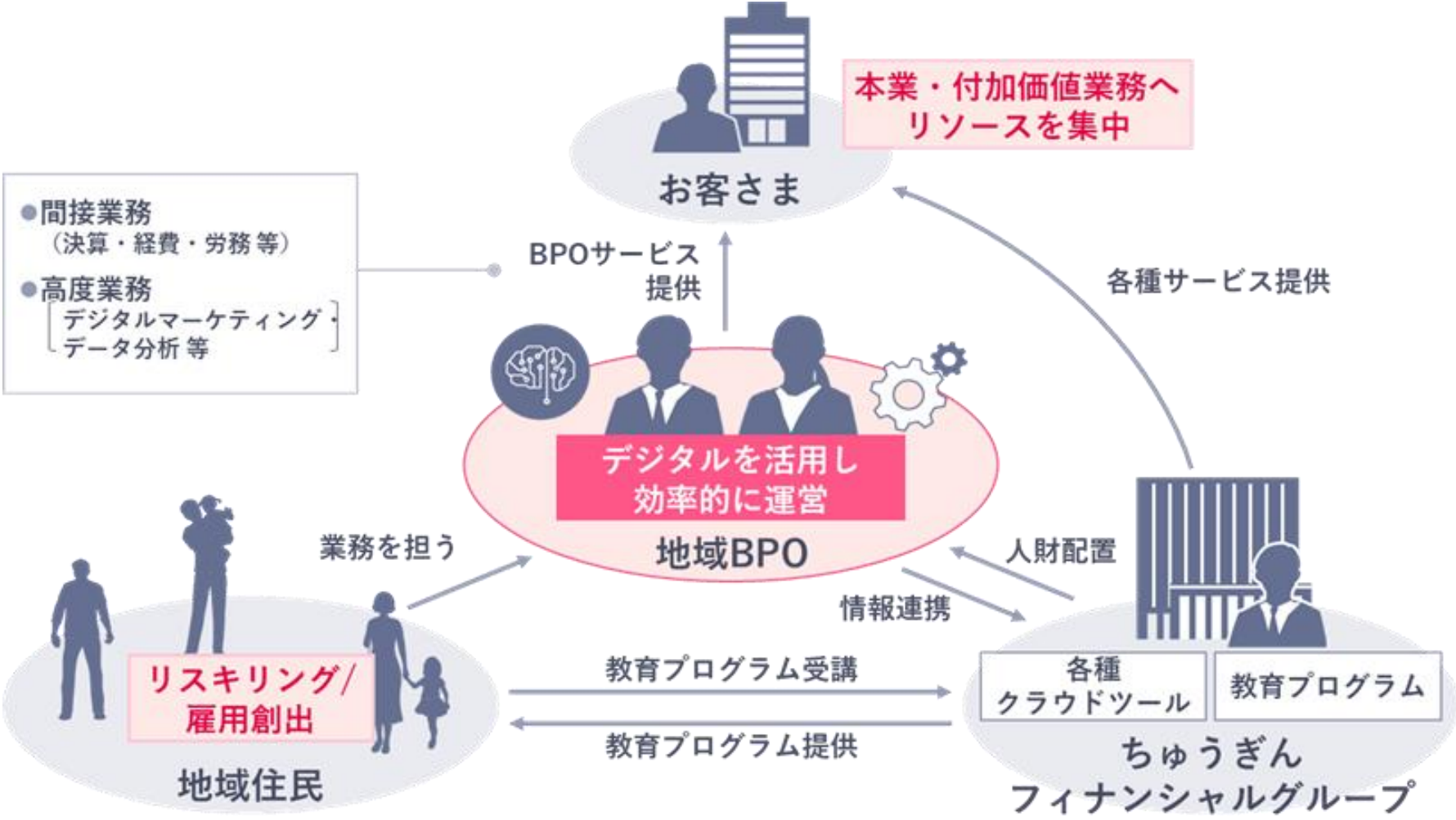
目的

本業に注力できる環境の構築

(域外企業からの受託による) 地域雇用創出

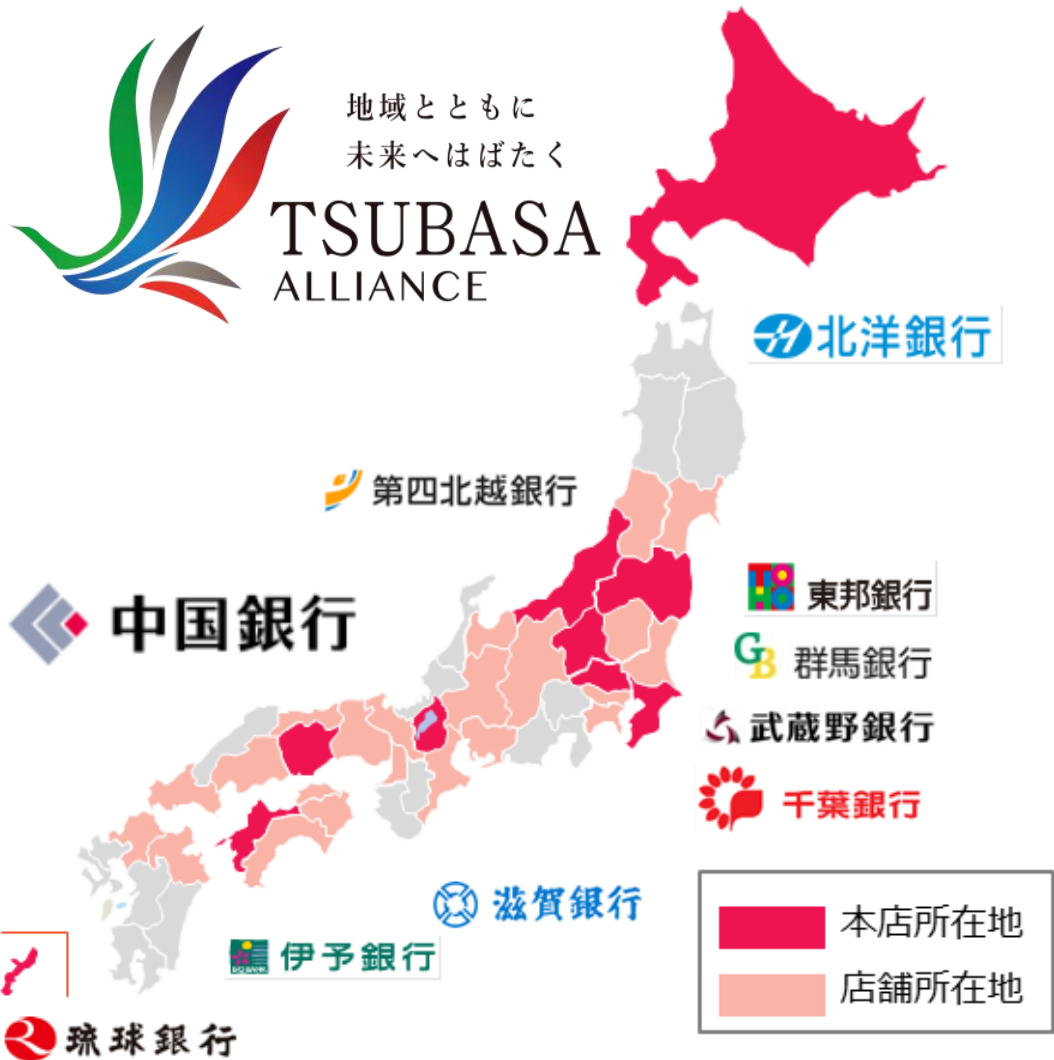
2024年10月より、本格運用に
向けた試行拠点を整備

将来的には100名規模での
受託体制へ



<広域連携>

TSUBASAアライアンス



各地域のトップ地銀10行による地銀最大のアライアンス

総資産額 (10行合計)	99兆円	個人顧客 (10行合計)	2,400万人	法人顧客 (10行合計)	224万先
(2024年3月末時点)					

<主な取組み>

トップライン増強	協調融資
	相続関連業務
コスト削減	基幹系システム共同化
	TSUBASA FinTech共通基盤
	サブシステム共同化
業務の高度化	AML業務の高度化

<その他の連携（地域）>

おかやま共創パートナーシップ（当行・トマト銀行・日本政策金融公庫・岡山県信用保証協会）
おかやま未来共創アライアンス（当行・岡山大学）
地域脱炭素創生・岡山コンソーシアム（当行ほか地域金融機関・国・県・経済団体・教育研究機関）
など

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅢ」

成果発揮・新たな挑戦

1 地方創生SDGsの「深化」

地域の魅力・ポテンシャルを引き出し「地域の持続的な発展」に貢献します

2 イノベーションの創出

次なる成長に向けた「新たな価値」を創造します

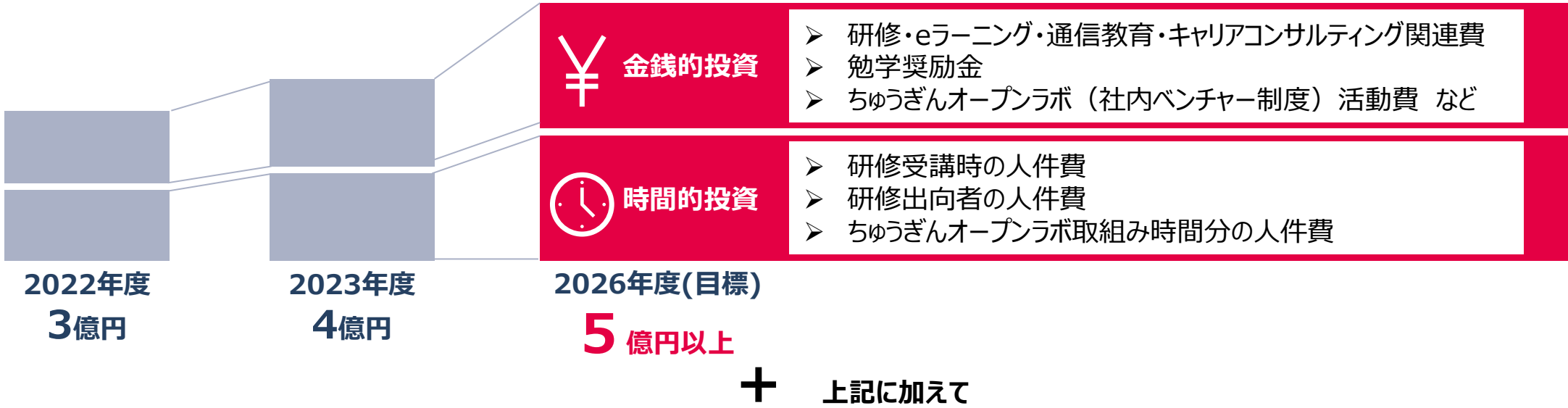
3 グループ経営基盤の強化

成長戦略を実行するための「**強固な土台**」を築きます

<人的資本>

人的資本投資

投資額



<2023年度>

・ベースアップ **+ 4 %**
(定期昇給含む)

<2024年度>

・ベースアップ **+ 5.4 %**
(定期昇給含む)

・初任給引き上げ (大卒**22.5万円**)

・従業員向け株式インセンティブ制度の導入
(約15万円/人)

<2025年度>

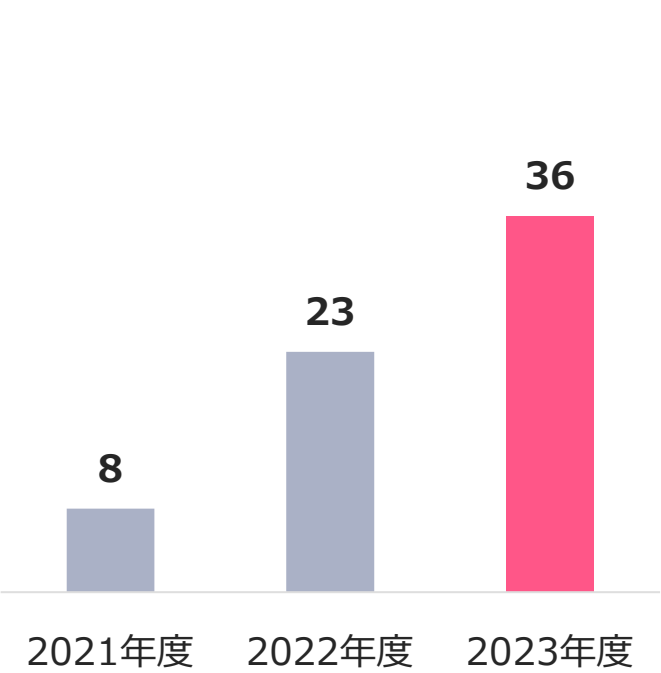
・ベースアップ (検討中)
(定期昇給含む)

・初任給引き上げ (大卒**25万円**)

<人的資本>

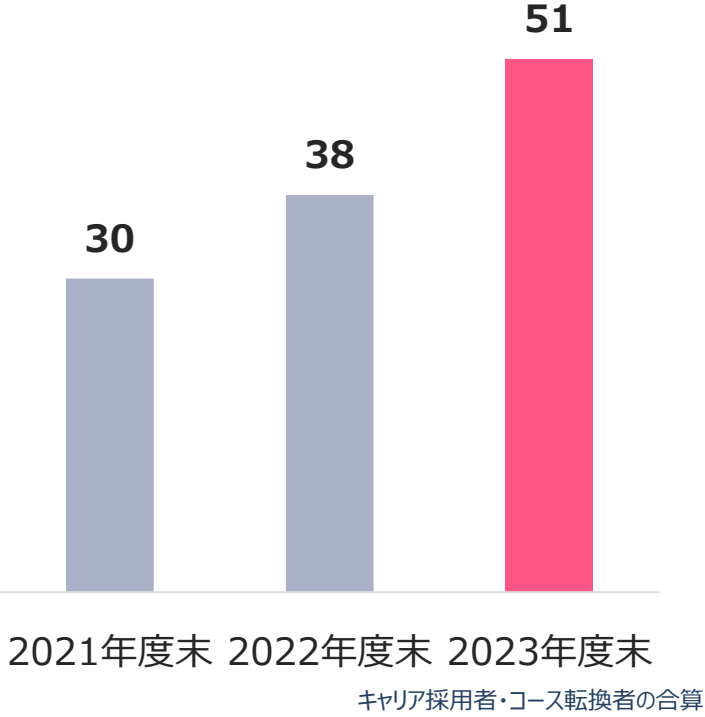
採用・育成

キャリア採用者数推移（単年/名）



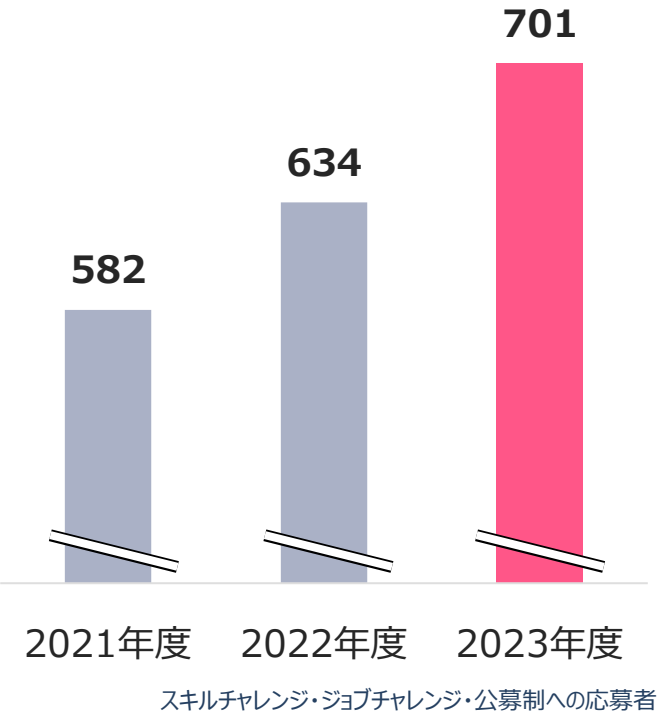
- ✓ 金融業界経験者
- ✓ 他業界での知識・スキルを持つ専門人財

専門コース在籍者数（年度末時点/名）



- ✓ 特定分野での高度な専門性

公募制等応募者数推移（単年/名）



- ✓ 自律的なキャリア形成

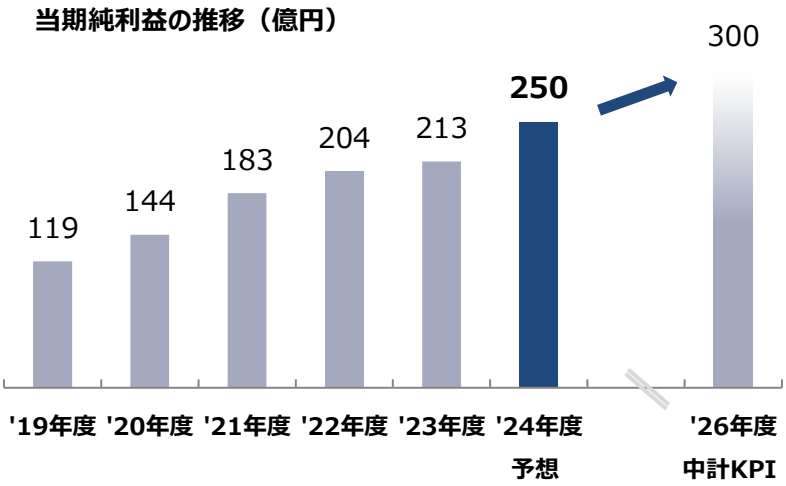
<人的資本>		ダイバーシティ&インクルージョン							
キャリア支援	女性未来塾（2024年～） 次世代リーダー育成を目的に女性主任・上級職を対象とした1年間の教育プログラム開始	<女性管理・監督者比率> <table><tr><td>（'23年度実績）</td><td>（'24/10月実績）</td><td>（'30年度目標）</td></tr><tr><td>17.7 %</td><td>20.8 %</td><td>30.0 %</td></tr></table>		（'23年度実績）	（'24/10月実績）	（'30年度目標）	17.7 %	20.8 %	30.0 %
（'23年度実績）	（'24/10月実績）	（'30年度目標）							
17.7 %	20.8 %	30.0 %							
働き方改革	育児・不妊治療と仕事の両立 2024年4月に岡山県ではじめて、中国地方で2番目に「プラチナくるみんプラス」に認定								
組織風土改革	当社ブランドムービー2作目を制作（2024年） 岡山イノベーションプロジェクトでコンテスト受賞歴を持つ板谷勇飛氏が設立した映像制作会社IDENCEとタッグを組んで制作								
健康経営	健康経営宣言 「ちゅうぎんフィナンシャルグループ健康経営宣言」を策定 個性ある役職員が育ち、能力を最大限発揮できる自由闊達で活気ある職場環境を整備								

決算

グループ連結 (億円)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
	実績	実績	実績	実績	実績	予想	増減
連結経常利益	174	212	258	295	311	355	44
親会社株主に帰属する当期純利益	119	144	183	204	213	250	37

<参考：中国銀行単体>

コア業務粗利益	747	763	802	867	843	973	130
経費（▲）	540	527	519	513	528	556	28
コア業務純益	207	235	283	354	314	417	103
うち 与信費用（▲）	56	80	76	50	85	148	63
うち 有価証券関係損益	▲ 4	50	30	▲ 17	48	45	▲ 3
経常利益	154	190	234	275	266	320	54
当期純利益	108	130	169	193	184	230	46



利益水準は着実に増加

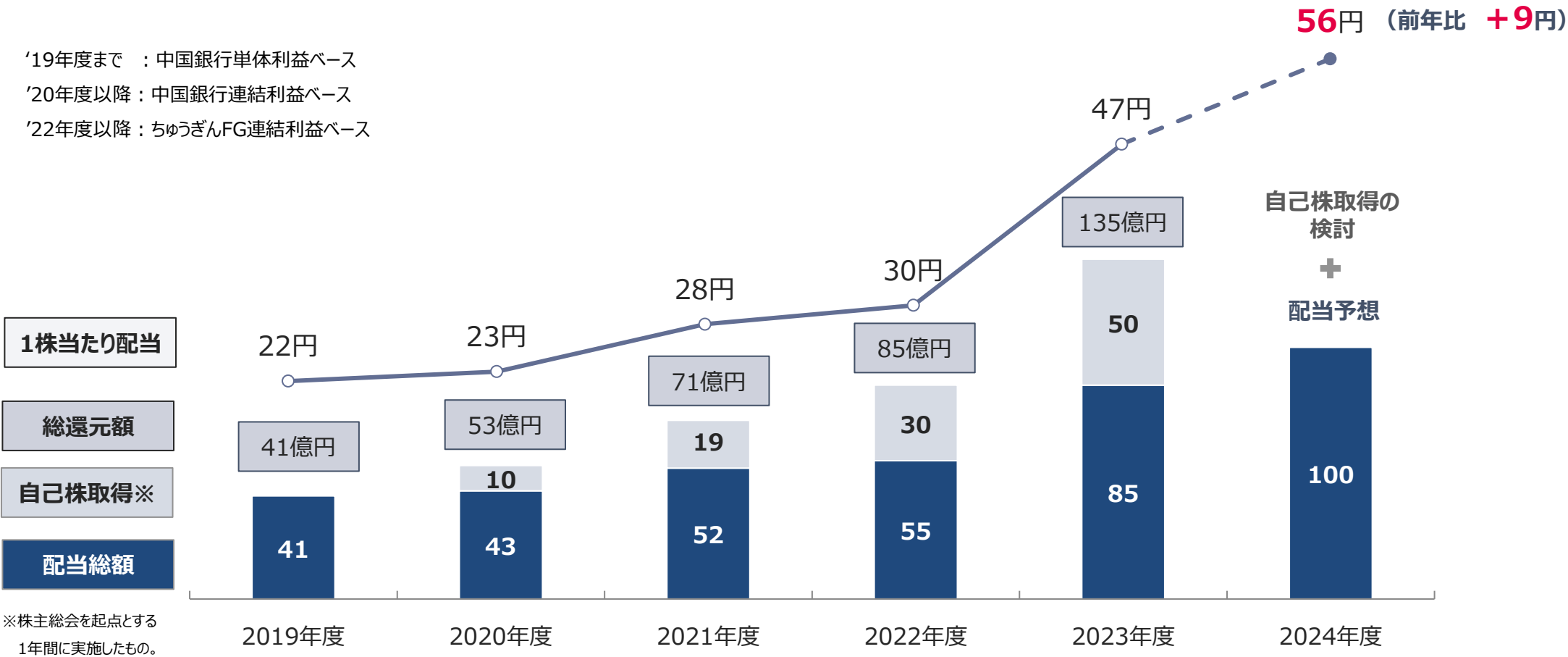


中計KPIである'26年度300億円の
前倒し達成を目指す

株主還元

【2024年度】・配当性向40%程度を目標とし、利益成長を通じた配当拡大を行う
・資本コントロールを通じた機動的な自己株取得を行う

総還元性向	38.2%	36.9%	38.9%	41.6%	63.4%	未定
配当性向	38.2%	29.8%	28.4%	26.9%	40.0%	約40%



株主優待

【株主優待制度の対象となる株主さま】

基準日（3月31日）現在の株主名簿に記録された500株（5単位）以上保有の株主さまのうち、
継続して1年以上保有（※）している株主さま。

（※）「継続して1年以上保有」とは、基準日（3月31日）の株主名簿に記録され、毎年3月31日、6月30日、9月30日、および12月31日現在の株主名簿に同一株主番号で連続して5回以上記録されていることをいいます。

【株主優待制度の内容】（3コースより、いずれか一つをお選びいただけます）

1. 岡山県特産品コース

カタログに記載された特産品からお好みの商品をお選びいただけます。

保有株数	優待商品
500株以上 5,000株未満	5,000円相当
5,000株以上	10,000円相当

2. 寄付金コース

3. TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース





「晴れの国おかやま」の特産品等を
多数取り揃えています



最後に

内部環境

- ✓ 業務軸拡大によるコンサルティングサービス充実
(フィー関連ビジネスの成長)
- ✓ 資本余力を活かした良質なアセット積み上げ

直近5年間で..

新設会社

+ 5 社

※せとのわ、キャピタル、ヒューマン
Cキューブ、エナジー

フィービジネス関連収益
(‘23年度271億円)

+ 58億円
(+27%)

※BK:預り、投資銀行、その他役務利益等
※Gr: 営業収益等

貸出金残高
(‘23年度5.7兆円)

+ 1.0兆円
(+21%)

※年度平均残高ベース

×

外部環境

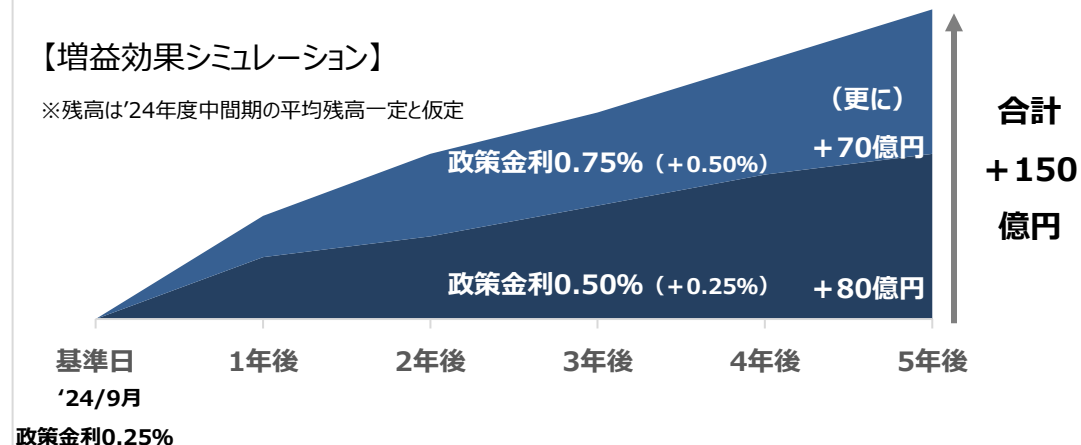
- ✓ 国内金融政策変更による金利上昇

<政策金利>

‘24/9 : 0.25% → ‘25/1 : 0.50%

【増益効果シミュレーション】

※残高は‘24年度中間期の平均残高一定と仮定



今後

- ✓ 一層の業績拡大と、**利益成長を通じた配当拡大**へ（配当性向**40%**程度）



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

本件に関するお問合せ先

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ 経営企画部 清水・松尾

TEL : 086-234-6519

Eメール : souki01@chugin.jp